

平成 25 年度第 1 回（4 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 25 年 4 月 11 日（木）午後 19 時 00 分～20 時 00 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、増田、山西、杉山、山田、久保田、後藤、栗本監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（3 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 医療関連サービス振興会に衛生検査所・地区委員会調査指導委員を推薦した。
- ・ 各種認定試験合格者、一般検査（受験者 99 名、合格者 43 名）、心電図（受験者 187 名、合格者 127 名）、染色体遺伝子（受験者 9 名、合格者 5 名）に認定証を送付した。
- ・ 日臨技主催研修会の講師料を外部講師 3 万円以下、内部講師 1 万円以下とし、講義時間により 0.5 倍～1.5 倍に増減することとした。
- ・ 関西支部から近畿支部に名称変更する。平成 24 年度会員数は近畿支部のみ前年度比減となった。
- ・ H25 年度委員会の再編成
運天：渉外、医療安全
小澤：学術、出版
中町：総務、国際交流、学会運営、支部長連絡会議
- ・ 総会委任状回収委託費を都道府県技師会に支払うこととした。
- ・ 2016 年度 IFBLS 学会開催地を兵庫県に決定した。学会長は宮島氏、実行委員長は小松氏とする。
- ・ 精度保証認証施設として 364 施設を承認した。

2. 近臨支部

- ・ 平成 25 年度研修会予定：微生物 2 回（奈良県、京都府）、病理・細胞（奈良県）、臨床化学（福井県）、一般（大阪府）、血液（和歌山県）、生理（京都府）
- ・ 第 53 回近畿支部医学検査学会（福井県）の学会スケジュールと予算案の提示があり承認された。
- ・ 第 52 回関西支部医学検査学会（和歌山県）及び輸血研修会のマイナス決算 149 万円の内、125 万円を日臨技が補填し、残りの 24 万円を近臨技が補填することとした。
- ・ 近畿地区 3 団体協議会は、今後継続的に友好関係を維持するために定期的な会議の開催をして行くこととし、世話人は滋賀医大吉田技師長にお願いした。参加メンバーは各府県の幹事及び府県会長（幹事が会長でない場合）とする。
- ・ 近畿 OB 会運営を再度見直し、名簿の作成や入会意思の確認などをして行くこととする。
- ・ 支部研修会の非会員の参加費は原則会員の 2 倍とする。
- ・ 支部研修会への近臨技からの補助は 1 研修会あたり 5 万円とする。

3. 事務局

〈総務部〉3月22日（金）に部会を開催した。

- ・ 平成24年度第2回定期総会について検討した。
- ・ 平成25年度第1回定期総会について検討した。
- ・ 平成25年度大臨技会員証の発行について検討した。
- ・ 平成25年度大臨技会報の発行について検討した。
- ・ 大臨技会員証および大臨技ニュース制作業者について検討した。
- ・ CMS化対応予算案について検討した。
- ・ レンタルサーバーについて検討した。
- ・ ホームページの会員専用サイトについて検討した。
- ・ メーカーからのHP相互リンク依頼について検討した。
- ・ 会費の返金について検討した。
- ・ 大臨技ニュース3月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉3月22日（金）に部会を開催した。

- ・ 2月度収支決算書を作成した。
- ・ 3月分事務員給与及び事業費を送金した。

〈渉外部〉3月19日（火）に部会を開催した。

- ・ 平成24年度第2回献血推進活動の報告を行った。献血受付数190名、献血者数165名。
- ・ 看護の日委員会の報告を行った。
- ・ 平成25年度事業計画について討議した。

4. 事業局

〈情報組織部〉3月21日（木）に部会を開催した。

- ・ 技師長会の反省点について検討した。（参加者46名）
- ・ 新入会員研修会のテーマについて討議した。

〈地区事業部〉3月21日（木）に部会を開催した。

- ・ 施設連絡者会（3月16日（土）開催）について反省会を行った。
参加人数：57名（内訳：正会員50名、非会員2名、賛助会員5名）
Webアンケート協力施設は105施設であった（回収率25%）。
- ・ マタニティカーニバル2013（開催日：平成25年7月6日（土）～7日（日）、場所：大阪南港ATCホール）の内容について検討した。

〈学術部〉3月5日（火）に部会を開催した。

- ・ 第8回学術部講演会の最終打合せを行った。
- ・ 平成25年度の予算ならびに事業について検討した。

III. 報告事項

1. 日臨技理事会報告について（運天会長）

- 1) 4月1日から関西支部から近畿支部に名称が変更になる。
- 2) 総会委任状回収委託費について

平成25年度定時総会の委任状提出依頼は日臨技から各会員に直接発送されるが、回収は各技

師会で回収することになる。回収委託費が日臨技より都道府県技師会に支払われる。回収方法と委託費については確定していないので、日臨技執行理事会で検討する。

3) 2016 年度 IFBLS 学会開催は兵庫県に決定した。日臨技近畿支部学会も同時に開催する。

2. 日臨技支部事業運用等について（清水理事）

- ・平成 25 年度支部事業運用について、支部会予算 25 万円が無くなり交通費が実費支給となった。支部事業運用規程が完成したら改めて報告する。
- ・近畿支部でのアンケート調査に関する取り決めが決定した。
- ・4 月 1 日からの名称変更に伴い、学会名も関西支部医学検査学会から近畿支部医学検査学会に変更となった。
- ・平成 25 年度日臨技助成金は前年度とほぼ同等となる。
- ・支部研修会への近臨技からの補助は 1 研修会あたり 5 万円とする。

3. その他

1) 平成 25 年度大臨技会員証について（吉本副会長）

封書形式で、4 月 22 日（月）に制作業者より投函（発送）予定である。

2) 子宮がん検診啓発活動について（清水理事）

平成 25 年 4 月 27 日（土）に心斎橋大丸前にて開催予定で、子宮がん検診の呼びかけやリーフレット配布を行う。

3) 平成 25 年度大臨技会報について（栗本理事）

今年度も web 形式での発行とする。

4) 学術部参加費について（高田理事）

事業費軽減の為、世話人からも参加費を徴収することとした。また、参加費の値上も考慮している。

5) 公益法人移行申請の進捗状況について（運天会長）

法務課からの回答待ちである。

IV. 議 題

1. 平成 25 年度 第 1 回定期総会（平成 24 年度 決算総会）について（吉本副会長）

タイムスケジュール案に沿って説明があった。

- ・日時：平成 25 年 5 月 23 日（木）19 時～20 時 30 分
- ・会場：社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所
- ・議長選出：第 1 議長：交渉中、第 2 議長：松倉 嘉士氏（㈱大阪血清微生物研究所）
- ・資格審査委員兼議事運営委員任命：
荒木常務理事（委員長）、田畑常務理事
会員 3 名（地区事業部より 3 名）：
①武岡 真由美氏（松下記念病院）
②和田 恭典氏（大阪赤十字病院）
③下本 知子氏（小阪産病院）
- ・議案審議：1) 第 1 号議案 平成 24 年度各部事業報告に関する件：各部部長
2) 第 2 号議案 平成 24 年度決算に関する件：荒木常務理事
会計監査報告：栗本監事
3) 第 3 号議案 その他

- ・議事録署名人選任（地区事業部より2名）：①高田 裕子氏（明生病院）
②喜舎場 智之氏（阪南中央病院）
- 2. 組織運営規程について（運天会長）
 - ・修正案について説明があった。次回の理事会で決定する。
- 3. 学術部世話人参加費について（荒木常務理事）
 - ・平成25年度については、前年度と同様とする。
- 4. 「平成25年度 第49回小島三郎記念文化賞」候補者の推薦について（吉本副会長）
 - ・候補者がいれば4月末日までに吉本副会長に連絡する。
- 5. その他
 - 1) 学生会員について（竹浦副会長）

東京都臨床検査技師会が平成25年度から新たに学生会員制度を創設することに伴い、大臨技でも次年度を目途に学生会員制度を創設することについて検討した。

 - ・教育施設懇話会時に、各施設担当者からは良い評価をもらった。
 - ・具体的内容については総務・会計部会で検討することとした。
 - 2) 後援依頼等について
 - ・日本未病システム学会より第6回近畿地方会（7月27日（土）開催）の後援依頼があり承認された。（吉本副会長）
 - ・第8回 日本臨床検査学教育学会学術大会（平成25年8月26日（月）～28日（水）開催）からの寄附依頼に対し、大臨技から10,000円を寄附することとした。（運天会長）

以上